

平成30年度 最後の
集団健診のお知らせ

2月16日(土)
2月17日(日)

注) 予約は組合へお電話で。
定員&締切り間近です。

発行所
全建総連郡山建設組合
〒963-8878
福島県郡山市堤下町9-13
TEL (024) 922-8051
FAX (024) 938-4155

発行責任者
(教宣部) 青木 栄一
山崎 久夫

つぼいと

Kooriyama kensetukumiai
TUBOITO

2019 (平成 31) 年
1月1日(火)
第476号

組合長
年頭のご挨拶

新しい年を迎えて

全建総連 郡山建設組合

組合長 鈴木祐治



「明けましておめでとう
ございます。」輝かしい新年
を迎え役員一同、心よりお
慶び申し上げます。

また、日頃より組合員の
皆様をはじめ、ご家族の皆
様には組合運営にご理解と
ご協力を頂き、厚く御礼申
上げます。

組合は現在、千百名を超
える組合員数を維持してお
り、皆様の組織拡大へのご
協力に感謝申し上げます。
今後も更なる拡大で、私た
ちの様々な運動や要求が実
現できるよう努めて参りま
す。

組合事務所のリフォーム
工事につきましては、検討
委員会において議論を重
ね、設計プランが決定され
ました。工事もすべて組合
員の皆様で施工していただ
くこととなり、昨年末より
工事が着工しました。
工事期間中は、組合事務
所の2階において窓口業務
を行ないますので皆様には



副組合長・書記長より新年のご挨拶

副組合長兼財政部長
第10支部 磯部義孝

副組合長兼組織部長
第7支部 大堀昌孝

書記長

第16支部 鈴木盛治

ご不便をおかけすることに
なりますが、ご理解下さい
ますようお願い致します。

今後組合は、組合員の
皆様の仕事とくらしを守る
ため、皆様と共に一致団結
して様々な運動を進めて参
ります。

最後に、私事ではありま
すが、郡山市議会議員とい
う組合と郡山市行政との太
いパイプ役として、皆様に
は多大なるご支援を頂いて
おりますことに感謝申し上げ
、簡単ではございますが
新年のご挨拶と致します。

《2月から着用が義務化》

《フルハーネス特別教育日程》

- ・1月17日(木) 9:00~16:00
 - ・1月24日(木) 9:00~16:00
 - ・1月30日(水) 9:00~16:00
- 会場：全建総連福島(大玉村)
受講料：5,000円
定員：各日30人 注) 先着順
主催：全建総連福島

フルハーネス特別教育開催



先の「労災(事故防止)学
習会」で研修されたとおり、
労働安全衛生規則の一部改
正により、平成31年2月1
日から、「墜落及び転落によ
る労働災害を防止するた
め、一定の作業においては
『フルハーネス型』の安全
帯を使用」しなければなら
なくなりました。併せて、

滞納をなくし健全な組合
運営にご協力をお願い致し
ます。

毎月、月末には書記局の
協力を得て、滞納対策会議
を開き、電話連絡や文書通
知、また、個別訪問等の繰り
返しです。なにか滞納をな
くす特効薬をお持ちの組合
員さんいらっしゃいますか。
最後の切り札は持っている
のですがなかなか行使
できないのが現状です。

新年を迎え「後期組織拡
大運動」がスタートします。
前年、拡大推進にご協力
いただいた組合員、役員、推
進委員の方々に感謝申し上
げます。引き続き組織部と
して掲げた目標に向かって
まい進してまいります。

『特別教育』の受講が義務
化されました。
そこで、全建総連福島(県
連)では上記の日程で『フル
ハーネス型安全帯使用作業
特別教育』開催します。◎定
員になり次第締め切り。
また、組合でも1月29日
(火)に開催予定ですので、
別刷りをご確認下さい。

後期拡大月間もガンバッ
テ目標達成しよう!

特に本年は「脱退防止」に
力を入れて活動をして、共
済制度の良さを認識して頂
くための活動を重点的に、
役に立つ、頼りになる組合
を目指します。

我々建設業で働く仲間
とって、仕事の確保・組合員
の家族の健康・助け合い・後
継者育成・家族ぐるみの組
合にするため、組織拡大が
絶対条件になります。

全建総連福島のホームページで、
「つぼいと」が見れます。

全建総連福島で LINE@がスタートし
ました。お友だち募集中です!

LINE@ 友だち追加
ID検索は @fyj4151a

組合員の皆様とともに、
新しい年を迎えることが出
来まして大変うれしく思
います。昨年の6月から書記
長として組合活動の要とな
って活動してきましたが、
まだまだ知らないことばか
り、組合員の皆様にお力
をお借りして活動してい
たいと思っております。
平成の時代が終わり、新
しい年号が4月ごろ発表に
なります。年号制は、世界で
もわが国ぐらいで、日本の
文化といっても過言ではな
いと思います。我々が職と
して住空間作りも、四
季折々の気候に合った住ま
い作りの文化だと思いま
す。異常気象で、災害が日本
各地で起きていますが、組
合員同士力を合わせて組織
拡大を図り、建設国保を守
って笑顔あふれる良い年
なるよう努力していきます
ので、今後ともご指導のほ
ど宜しくお願い致します。

年末の現場の安全チェック

木造家屋低層住宅現場をパトロール



不安定な足場立て地の脚部

分かれ実施されました。郡山地区のパトロールには、建設業協会をはじめ、8団体から14人。郡山建設組合からは渡邊一利社務部長が参加しました。

あいにくの雨降りのなか、富田・大槻・片平地区の木造低層建築物8ヶ所(主に戸建住宅16棟)の工事現場の安全点検を実施しました。

現場の安全対策は年々改善されていますが、①足場たて地脚部の不安定。②足場作業床の幅木未設置。③足場内側からの墜落防止対策不備(外壁から30cm以内確保またはネット設置)。④保護帽の無着用。などが見



パトロール実施後の反省会

られました。また、地元工務店の施工現場では、いまだに丸のこの安全カバーの不作為などが見られ、それぞれ同行した郡山労働基準監督署の安全専門官から指導が行われました。

例年、年末年始には労災事故が多発します。不完全な足場は重大な労災事故発生の原因となります。組合員の皆さん、現場の安全について再点検をお願いします。(取材 山崎久夫)

泉崎で理事・支部長合同会議

パークゴルフも体験

年末の12月4日(火)、恒例の「理事・支部長合同会議兼忘年会」に併せ、泉崎カントリーヴィレッジで、午後1時から「パークゴルフ大会」を開催しました。

参加者10人は3組に分かれ、2コース18ホールでプレーを楽しみました。午後4時からの合同会議には会場が遠かったためか、出席者が34人と少なめでした。

会議終了後は24人が参加し、「懇親会(忘年会)」を時



初めての体験で「迷」、プレー続出!

間のある限り楽しくやり、翌日(5日(水))朝食後、自由解散となりました。(教宣部長 青木栄一)

第8支部で拡大目標確認

渡邊仁氏・民井収氏の

お祝いを兼ね懇親



平井支部員(左)から花束を贈呈される渡邊氏



お祝いと懇親を深めた支部会員

賞お祝い会と民井収支部長の快気祝いを9人の組合員が参加して開催しました。支部会では12月の理事・支部長合同会議における8支部の滞納者が解消した報告と8支部の組織拡大目標達成まであと一人拡大の確認をしました。

引き続き渡邊仁氏に花束を贈り、技能功労賞受賞のお祝い会と民井収氏の快気祝いを兼ね、夜遅くまで懇親を深めました。(第8支部 山崎久夫)



シリーズ
私の修業時代
第21回
社会人として43年間経過
第18支部 遠藤和美さん
(建築設備・製図業65歳)

私は、昭和51年4月、郡山市の設備工事の事業所に入社し、社会人としてのスタートを切りました。当時私は会社の上司2人と比較的大きな新築病院を担当し、設備工事のことを何も知らずに製図台(ドラフター)を使用し、施工図を作製する事になりました。施工図の誤りはその都度指摘され、徐々に内容等を理解しました。現場の作業員は、その施工図をもとに施工し、完了し、

引渡しとなります。入社後、15年ほど経過し、図面に対し、独立してやっていけるものと確信。平成3年に独立しましたが、時代は徐々にパソコン導入へと移り、1・2年間はその間に集中し、使いこなせるようになり、製図台で培った経験はそのまま反映され、今日に至っています。現在、私は65歳を迎え、健康上に問題がなければ、今後5年間位は続けていきたいと思っています。

第8支部では、12月8日(土)、静岡の「酒場セゾン」で支部会と併せて渡邊仁支部会計の郡山市技能功労賞受

12月末在籍組合員数
1136人
前月比±0

- ◎新しい仲間(12月加入)
- 氏名 紹介者
- 田中 昭夫(1) 江川 佑
- 佐藤孝一郎(7) 橋本 正美
- 原田 寿馬(10) 平塚慎一郎
- 増子 弘之(13) 橋本 正博
- 厚海 由美(20) 大堀 昌孝
- 厚海 良太(20) 大堀 昌孝
- 厚海 竜次(20) 大堀 昌孝
- 大野なるみ(27) 大野 武志

- ▼自由研削といし取替等業務特別教育
- 日程 2月19日
- 会場 郡山労働基準協会
- 受講料 9,396円

- ▼有機溶剤作業主任者技能講習
- 日程 2月14・15日
- 会場 郡山労働基準協会
- 受講料 11,664円

- ▼アーク溶接業務特別教育
- 日程 2月5・6日
- 会場 郡山労働基準協会
- 受講料 11,880円

- ▼玉掛け技能講習
- 日程 2月4・5日
- 実2月6・7日(1日)
- 会場 ボイラクレイン福島
- 受講料 23,250円

- ▼フルハーネス型安全帯使用作業特別教育
- 日程 1/31か2/27か3/25
- 会場 県建設センター
- 受講料 9,000円

講習等のお知らせ